

令和7年度 9月号

田原交流センターだより

令和7年9月18日
磐田市三ヶ野1045-3
田原交流センター
☎ 35-4269 全戸配布

【交流センター周辺・明ヶ島花壇の環境整備作業】 ご協力、ありがとうございました！

8月17日(日)に開催した交流センター周辺、及び明ヶ島花壇の草刈り作業にご協力いただきましてありがとうございます。

真夏日が続く中での作業に約60名の方に、ご参加いただきました。

お陰様で周辺が、見違えるように綺麗になりました。まだまだ暑い日が続きますが、体調に気を付けてお過ごしください。ありがとうございました。



ミニサッカーフェスティバル2025

8月23日(土)午後6時から、ミニサッカーフェスティバルが田原交流センターグラウンドで開催されました。参加したのは8チームで、試合は総当り戦で行われ、2年坊主チームが優勝しました。準優勝は鈴木正徳チーム、3位は乗松ユナイテッドチームでした。おめでとうございます。参加者・役員の皆さん、お疲れさまでした。



子どもを地域で見守ろう！

子どもの見守りは、普段の生活の中でも出来ます。

「ながら見守り」始めてみませんか

- 例えば・・・ ★ウォーキングしながら
- ★ジョギングしながら
- ★犬のお散歩しながら
- ★買い物しながら



子どもたちの安全を守るため、ほんの少し目を配り、子どもたちの笑顔を守りましょう。

田原水車の里に来てみませんか

田原水車の里 埋設ホースの更新 8月23日、30日（土）

水車の再生から14年目となり、埋設ホースが詰まり気味となってきた為、今回交換しました。旧6本のホースを撤去し埋設用の溝を掘り出し、途中の繋ぎをなくし各水車まで新しいホースを埋設しました。ポンプからのホースも交換し、水車はスムーズに回っております。暑い中での作業で大変でしたが、これで10年以上は保つでしょう。



田原水車の里愛護会では会員を募集中です。毎週土曜日の午前中に活動をしています。興味のある方は是非見学にいらしてください。
お問い合わせは田原交流センターまでお願いします。



田原水車の里愛護会
Facebookはこちら

ヒガンバナの季節です



田原水車の里の秋の風景といえば河川敷を赤く染める「ヒガンバナ」ではないでしょうか。

今年は例年より遅く、9/10時点でまだ芽が出ていませんが、名前の通りお彼岸の頃にはきれいな花を咲かせてくれるでしょう!!
水車の里には、蝶やトンボなど様々な虫もやってきます。

お近くにお越しの際には、水車の里にぜひ足をお運びください。



↑ 今年の田原水車の里の様子。

開催しました

終活おうえん講座 遺言について知ろう

8月29日（金）終活おうえん講座「遺言について知ろう」を開催しました。これは、一昨年3月に開催した相続登記講座後のアンケートで、遺言についてもう少し詳しく知りたいという声が多かったため企画したものです。

まず、劇団たはらの皆さんによる、昔話の主人公たちがそれぞれの相続についての悩みを専門家に相談に行って解決する寸劇「昔話 桃太郎・浦島太郎 僕らに遺言は必要か？」を見ていただいたあと、市民相談センター終活おうえん窓口の伊東祐樹さんによる、相続と遺言についてのお話を聞きました。

当日配布したエンディングノートの簡易版「わたしと家族のあんしんレター」は、ご家族の分も持って帰る方もいるほど興味を持ってくださる方が多かったので、センターに何部かご用意しました。必要な方は事務所にお声掛けください。



夏休みは交流センターに行こう！

今年の夏休みも、子どもたちが体験できる
たくさんの講座を開催しました

宿題お助け講座 子ども書道教室

7月23日(水)12名が参加し開催しました。先生のお手本を見ながら納得がいくまで何枚も書き、一番上手に書けた作品へ慎重に丁寧に名前を書き入れました。



宿題お助け講座 子ども絵画教室

7月31日(木)12名が参加し開催しました。最初に先生から書き方のコツを聞いたあと、それぞれのテーマに沿って下絵を描きそれに色付けをしていきました。短い時間の中で完成することができた子もいました。



消しゴムはんこで扇子づくり

7月30日(水)お子さま2人を含む9名が参加し開催しました。簡単な消しゴムはんこを2種類彫った後、白い扇子にはんこを押していき、自分だけのスペシャルな扇子を作りました。



アナログゲームで遊ぼう

8月8日(金)3組の親子を含む19人が参加し開催しました。ゲームを通じて世代を超えたコミュニケーションを楽しみました。大変好評でしたのでまた企画します。その際はぜひご参加ください。



水車の里から ~地区長コラム~

『原子力防災センター』

交流センターだより8月号に掲載されました防災視察研修で「原子力防災センター」に行ってきました。浜岡の原子力発電所から約20km離れた富士山静岡空港に隣接した所に設置されています。国と県で管理運営がされており、ここでは浜岡の原子力発電所に事故が発生し放射線が外部に漏れた時に各所の放射線量の監視と住民の避難などの防護措置の方針等を決定する統括的施設です。私たちが住む田原地区は、浜岡原発から31km圏内にありますので第1段階では建物内避難ですが、放射線量が増えれば県外へ避難ということが計画で決まっています。職員の方から説明を聞いて、これまで余り知らなかった原子力防災についていろいろと学ぶことができました。

この建物は10年程前に建設されたもので建設費は約25億円。毎年の維持管理にも相当大きなお金が必要だと推測がされます。防災に掛けるお金は多ければ安全が確保できるもののいくらでもつぎ込むことはできませんので、予算全体のバランスの中で決まるもので、家庭での保険をどれだけ掛けるのかと同じ様に思います。そして災害などにも起こらなかったら掛けたお金が無駄だと考えるか、なにも起こらなくて良かったと思うかは人それぞれで、防災も保険もどこまで掛ければよいか正解は分かりません。

最後に、ここには他のセンターにはない特別な施設があります。それは展望ロビーです。大きな窓から周辺の景色が展望でき、左手には富士山、右手には駿河湾と伊豆半島、そして正面には空港の飛行機の離発着を見ることができるスペースです。しかし、この日は視察の間に着陸や飛び立つ飛行機はなくて見ることはできず、また遠くが霞んでいて富士山も見えずで残念でした。



原子力防災センター視察の様子

田原地区 社協だより

地域づくり協議会福祉部会

☎ 35-4269

(田原交流センター内)

令和7年9月18日発行

犯罪のない 田原地区を目指す

「割れ窓理論」という言葉を耳にしたことがありますでしょうか

これは米国の犯罪学者ケリングが提唱した、「小さな問題や無秩序な状態を放置すると、それがエスカレートしてより深刻な問題や犯罪を招く」という理論です。

この理論をもとに犯罪件数を劇的に減少させたのがニューヨーク市です。5年間で犯罪の認知件数が、殺人事件では67.5%、強盗事件は54.2%減少したとのこと

日本で比較的身近な例では「東京ディズニーリゾート」です。清掃を徹底してきれいな環境を維持することにより、来園者が気持ち良く過ごせること及びマナー向上につながっているようです。ごみの無い所に犯罪は起きない。つまり抑止効果でもあります。

地区社協でも「犯罪のない田原地区を目指そう」を目標の一つとしています。

私たちに出来ることとしては

- ①まちのゴミ拾いや見回り～ボランティア～
- ②自宅のセキュリティーを高める
- ③住民の連帯感～近所づきあい～

といったことでしょうか。

自宅周囲の清掃・手入れは、単なる「片付け」と思われがちですが、他者から見たときに防犯意識の向上が感じられるという効果もあるようです。

一方で高齢化に伴い「草むしり」が生活支援要望のひとつになっていますが、市内のある地区では真夏時期のお手伝い・支援は熱中症対策の観点からお断りしているようです。

異常気象から気候変動へと移り行く中で、自分は何が出来るのかが問われてきています。



祝 米寿 心からお慶び申し上げます

玉 越	鈴木	玉枝	様
西 島	元場	克彦	様
八 大	鈴木	正	様
明ヶ島	高橋み	ち子	様
東部台	太田	悦子	様
	飯田	素子	様
明 団	内野	武一	様
	國京	健二	様

小澤	恒代	様
中原	春雄	様
永井	啓孔	様



今年度は16名の方（昭和12年4月2日～昭和13年4月1日生まれの方）がめでたく米寿を迎えられました。この方々には、田原地区社協より祝い金を贈らせていただきます。

※氏名は、許可をいただいた11名を掲載させていただきました。